みんなの歌謡曲
第105号
無料
発行元：オフィス香音（かのん）
㊞安松
〒270-2251
松戸市金ヶ作43-118
(090)1558-4391
FAX. 047(388)3619

◆◆みんかよネット　http://www.minkayo.com/◆◆（配布店はこちらをご参照下さい）

新曲「五右衛門さん」で新しい青戸健を！

「人生の応援歌を歌い、故郷の匂いのする歌手になりたい」と、芸名を出身地の青森の「青」と八戸の「戸」を、そして本名の1文字の「健」をとって付けた青戸健さん。昨年デビュー15周年の節目を通過しましたが、16年目に入った今年「新しい青戸健」をアピールすべく、これまでにない新しい世界観を歌った『五右衛門さん』（詩・下地亜紀子／曲・宮下健治）をリリースしました。今の世の中は、東日本大震災で自粛ムードが漂いますが、こんな時こそ、今回の新曲のような明るい音頭調のノリの良い楽曲が必要となるかも知れません。16年目の新曲にかける、熱い思いを伺いました。

――これまで、故郷をテーマにした楽曲が多かったですが、今回の東日本大震災における青森の被害はいかがでしたか？

青戸　母と兄がそれぞれ青森に住んでいるのですが、母とは地震発生直後に奇跡的に電話で連絡が取れ、家と身体の無事を確認できました。深夜になり、やっと兄とも連絡が取れて、母を自分の家に連れてきて一緒にいると聞かされましたが、母によると「91年間生きてきて、今までで一番怖い思いをした」と話しておりました。これから先は、ずっと兄の家で一緒に暮らすとのこと、本当に安心しました。ただ、青森だけじゃなく東北各地及び関東でも甚大な被災に遭い、深刻な状況に陥っております。この危機的状況から、一日も早く立ち上がっていただきたいですし、自分も「歌手」として「八戸特派大使」として、自分に出来る範囲で復興の為に尽力を致す所存です。早速、「新曲発表会」や「キャンペーンコンサート」において、会場の皆様と自分の善意を義援金として被災地へ届けさせていただきました。これからも、長い期間に渡って継続を致します。

――さて、話を歌に移しますが、新曲『五右衛門さん』はこうした暗いムードを吹き飛ばすような、明るい歌

青戸　今作からディレクターさんが変わりまして、新曲に対するジャンルやテーマを初めとして、いろいろな角度から話し合いをさせていただきました。過去15年間の楽曲を振り返り、自分的には満足しておりましたが、「一つ心残りといえば、60歳は超えましたがNHKのテレビ番組に出るという、果たせていない【夢】を実現したいです。」との思いを率直に伝えました。いま、三橋三智也さんや春日八郎さんを歌う歌手は数多いですが、三波春夫さんや村田英雄さんを歌う方は少ないように思います。そこから、青戸健という歌手をもう一度リセットして、注目を集める楽曲作りをして、新たな青戸健を生み出してアピールして行こうと、歴史上の人物に焦点をしぼった作品を3作いただきました。

――その中で『五右衛門さん』を選んだポイントは？

青戸　最初に聞いた瞬間から、本当に明るく楽しい気持ちになれまして、これまでのオリジナルでは手拍子の入るノリの良い楽曲はなかったので、「これだ！」と決めさせていただきました。

――そして、固有名詞が入るのも初めてですね。

青戸　そうですね。スタッフもその部分だけが引っかかっていたのですが、ようやく説得して決定しました。やはり、こういう暗い時代には歌の力で一瞬でも明るく楽しい気持ちになっていただけるように、努力するつもりでおります。

――ノリも良くて、とても覚えやすいですね。

青戸　そうなんです。「あっ、絶景かな！」なんて五右衛門さんらしいし、歌うこともさることながら盆踊りなんかで賑やかに踊るにも、ピッタリだと思います。できましたら、楽曲だけでも先行してくれたら嬉しいのですが。

――それに、ステージ衣装の金のドテラ姿も注目必至ですね。

青戸　以前、コンサートの時に時代劇（寸劇）もやっておりまして、その時に一度だけ金のドテラを着用したことがありました。そこで、今回の楽曲のイメージにピッタリだと思い、プロモーションビデオの撮影時に持参して、着たらすごく好評でして…。実はアーティスト写真やジャケット写真もその時に撮ったものです。

――それから、とにかく今回はステージで動くこと動くこと、ビックリ！しました。

青戸　今回は、ステージ上で躍動感を意識しておりますので、ついついオーバーに動き過ぎてしまいまして、1ステージが終了するともう汗だくで…（笑）。踊りながら歌うのは初めてのことでして、まして扇子も使用するので、さばきに苦労しました。それでも回を重ねるごとに徐々に慣れてきまして、今では無理なく歌って踊れるようになりました。今年62歳ですので体力の衰えを感じますが、ここで一生懸命に頑張って「新しい青戸健」をアピールしたいですね。

――1月の発売からの反応は？

青戸　これまでの私を知っている方々の反応は色々で、「いいね」と言ってくださる方や「イメージが壊れる」と言う方と、半々ですね。ただ、カラオケ教室の先生方は「結構面白いね」と言ってくださる方が多いんです。元々、私の楽曲はいきなり演歌チャートの上位に入る訳ではなく、10位くらいからしっかりと長く居残るタイプですので、ジワジワと行ってくれると思っております。これからは、常に何か新しい話題を提供していきたいですね。

――5月には、大阪でもステージがありますね。

青戸　関西でも自粛ムードが漂っていると伺っておりますが、主催者の方から普段通りのステージをと言われました。やはり、ステージでは萎縮することなく思いきり歌いたいです。

――今年16年目を迎え、「新しい青戸健」としての抱負を聞かせてください。

青戸　15年間を振り返ると、沢山の皆様に支えられながら本当に充実した日々を送れたと思っております。実は46歳という遅いデビューから60歳になった時に、心の中で「もう、あまり無理しなくてもいいんじゃないかな」と感じ、心の変化と共に歌い方も変わったように思いました。そんな時、前作の「酒ごよみ」をリリースする祭、作曲の水森英夫先生から、レコーディング時に「もっと、芯を食った声でカツーンと行こう！」と。そして「年齢も年齢なのだから、常に大きな声を出していないと、出なくなってしまうよ」と温かいご指摘をいただきました。楽に歌おうとしていた自分を恥じると共に「もう年だから」と迷ったままで歌っていた自分に、引かずに真っ向から取り組む心構えを教えていただいて、心より本当に深く感謝致しております。今はそのお言葉を胸に、常に思いきり声を出すように心掛けております。そして、新たに原田直之先生に弟子入りをさせていただいて、民謡も習い始めました。民謡の発声法も勉強しつつ、自分の歌唱法の欠点を直しながら、60才にしてまだまだ伸びられると思っておりますし、新しい物事にチャレンジして参ります。これからも1作1作力一杯「言葉」と「気持」が伝わる歌をお届け出来るように、精進して参ります。62歳、まだまだやりますよ！（笑）

青戸健　プロフィール

生年月日昭：昭和23年12月15日
出身地：青森県八戸市
本名：福井健悦
血液型：O型
趣味：音楽鑑賞、スポーツ観戦

「最近物忘れがひどくなって（笑）…。そこでナンプレを今年に入ってはじめたんです。それに山手線の駅名や東京23区を覚えたりと。とにかく脳を老化させないことを常に何かを考えるようにしています。」

※スケジュールは8面を参照して下さい！

誰もが持つ心の
ふるさとの歌
Nobby（ノビー）
「母の鞄」
待望のシングル化！
DAM：1656-35
UGA：2938-63
C/W「越名恋唄」もDAMへ配信中！
発売：ウイングジャパン／WJCR30055
☎ 03－6228－3122

カラオケ喫茶　テラス
住所114-0001
東京都北区東十条3-16-4　第3前田ビルB1F
TEL 03-3919-3566
営業時間 PM12：00～PM11：00
・カラオケ料金1曲100円
・飲み物：焼酎、ウイスキー、ソフトドリンク
・10名様以上、ご予約承ります。
UGAでJOY(ポイント)をためよう！
JOYSOUND×UGA